

注3

大学番号：私045

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

人間総合科学大学大学院 人間総合科学研究科 臨床心理学専攻

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人早稲田医療学園

平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウマシユニン 教務主任 ハセガワ 長谷川 マコト 誠

電話番号 048-749-6111

（夜間） 048-749-6111

F A X 048-749-6110

e-mail makoto\_hasegawa@human.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

人間総合科学研究科

<臨床心理学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	7
4. 既設大学等の状況	8
5. 教員組織の状況	10
6. 留意事項等に対する履行状況等	14
7. その他全般的事項	16

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人早稲田医療学園

## (2) 大学名

人間総合科学大学大学院

## (3) 大学の位置

〒339-8539

埼玉県さいたま市岩槻区馬込1288番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(クシミ マリ) 久住 眞理 (平成3年4月)		
学長	(クシミ マリ) 久住 眞理 (平成16年4月)	(クシミ タケシ) 久住 武 (平成29年4月)	学長退任のため 平成29年4月(29)
研究科長	(クシミ タケシ) 久住 武 (平成27年4月)		
専攻長	(シマダ リョウコ) 島田 涼子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間総合科学研究科 臨床心理学専攻 (修士課程) 通信教育課程 修士(臨床心理学)	臨床心理学	3年	15人	45人	基礎となる学部等  人間科学部 心身健康科学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

0.86667

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15人 ( ) [ - ]	一人 ( ) [ - ]	15人 ( ) [ - ]	一人 ( ) [ - ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]			0.86倍	
志願者数	23 ( 23 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	28 ( 27 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
受験者数	23 ( 23 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	28 ( 27 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
合格者数	12 ( 12 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	15 ( 14 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
B 入学者数	11 ( 11 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	15 ( 14 ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A										

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	11 [ - ] ( - )	— [ ] ( )	15 [ - ] ( - )	— [ ] ( )	[ ] [ ]	[ ] [ ]	
2年次	/		11 [ - ] ( - )	— [ ] ( )	[ ] [ ]	[ ] [ ]	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] [ ]
計	11 [ - ] ( - )				26 [ - ] ( - )		[ ] ( )

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	11 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成29年度	0 人	0 人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	15 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	26 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<人間総合科学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）通信教育課程>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎分野科目	心身健康科学特講	1前	2				1					兼6 兼2 兼4 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（専任教員1名、兼担教員4名追加）（29）		
	認知脳科学特講	1前		2								兼1		
	ストレス学特講	1後		2								兼1		
	臨床心理学特論Ⅰ	1前	2			1								
	臨床心理学特論Ⅱ	1後	2			1								
	臨床心理輔導行政・倫理特講	1後		2								兼1		
	臨床心理面接特論Ⅰ	1前	2				1	+				村上善奈講師の准教授昇格（29）		
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後	2				1	+				村上善奈講師の准教授昇格（29）		
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前	2			1								
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後	2				1	+				村上善奈講師の准教授昇格（29）		
	臨床心理学研究法特論	1前		2			2	+		+		村上善奈講師の准教授昇格（29） 大澤一郎教授就任辞退による担当教員の変更（28）；萩原豪人准教授 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼任教員1名追加）（28）		
心理統計法特論	1後		2		4						兼7 兼4 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼担教員3名追加）（29） 大澤一郎教授就任辞退による担当教員の変更（28）；萩原豪人准教授 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼任教員4名追加）（28）			
展開分野科目	援助技法科目	カウンセリング特論	2後 2前		2		1						教育・研究効果を考慮し、配当年次を変更（29）	
		心理療法特論	2後		2		1							
	臨床心理実践科目	医療保健領域科目	心身医学特論	2前		2		1						担当教員を矢吹弘子教授から坪井康次教授に変更（28）
			精神医学特論	3前		2		1						
		教育領域科目	学校臨床心理学特論	3前		2			1	+				村上善奈講師の准教授昇格（29） 大澤一郎教授就任辞退による担当教員の変更（28）；萩原豪人准教授
			教育心理学特論	3前		2		+	1					
		福祉領域科目	発達心理学特論	2後		2		1						
			老年心理学特論	3前		2								兼1
		司法・矯正領域科目	犯罪心理学特論	2後		2								兼1
	産業領域科目	産業カウンセリング特論	2後		2									兼1
		人間関係学特論	2・3前		2		1							
		臨床心理援助技法論Ⅰ（個人心理療法）	2前		2		1						兼1 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼担教員1名追加）（29）	
	臨床科目心理技法	臨床心理援助技法論Ⅱ（集団心理療法）	2・3後 2・3前		2		1						兼1 教育・研究効果を考慮し、配当年次を変更（29）	
		臨床心理援助技法論Ⅲ（臨床心理査定）	2前		2								兼1	
臨床心理基礎実習Ⅰ		1後	1			2 3	2 +	+	+	1		兼1 村上善奈講師の准教授昇格。ならびに教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（助教1名追加）（29） 大澤一郎教授就任辞退による担当教員の変更（28）；萩原豪人准教授		
臨床科目心理実習	臨床心理基礎実習Ⅱ	2前	1			2 3	2 +	+	+	1		兼1 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼任教員1名追加）（28）		
	臨床心理実習Ⅰ	2後	1			2 3	2 +	+	+	1		兼1 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼任教員1名追加）（28）		
	臨床心理実習Ⅱ	3前	1			2 3	2 +	+	+	1		兼1 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充（兼任教員1名追加）（28）		
	臨床心理学特別研究	2・3	6	0		3 4	2 +	+				村上善奈講師の准教授昇格（29） 大澤一郎教授就任辞退による担当教員の変更（28）；萩原豪人准教授		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成27年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

### (2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況					備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計			
科目 12	科目 19	科目 0	科目 31	科目 12	科目 19	科目 0	科目 31			
				[0]	[0]	[0]	[0]			

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。  
 （記入例：1科目減の場合：△1）  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{31} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	記載内容の誤りによる 訂正 (29)  大学院附属臨床心理研 修センターの設置 (29)			
	校 舎 敷 地	23-003-4 22,647㎡	0㎡	0㎡	23-003-4 22,647㎡				
	運 動 場 用 地	2,837㎡	0㎡	0㎡	2,837㎡				
	小 計	25-840-4 25,484㎡	0㎡	0㎡	25-840-4 25,484㎡				
	そ の 他	1-923-23 2,066㎡	0㎡	0㎡	1-923-23 2,066㎡				
	合 計	27-763-63 27,550㎡	0㎡	0㎡	27-763-63 27,550㎡				
(2) 校 舎	専 用	17-699-78 17,964㎡	0㎡	0㎡	17-699-78 17,964㎡				
	(17-699-78 17,964㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(17-699-78 17,964㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学院附属臨床心理研 修センターを設置した ことで演習室が増室と なる。(29)  大学全体			
	33室	4—7室	25室	2室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 1人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合科学研究科研究科 臨床心理学専攻			6 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点		
		人間総合科学研究科 臨床心理学専攻	410〔40〕 ( 210〔20〕)	15〔0〕 ( 5〔0〕)	20〔0〕 ( 20〔0〕)	85 ( 45)	60 ( 45)		0 ( 0)
	計	410〔40〕 ( 303〔44〕 ) <del>( 210〔20〕 )</del>	15〔0〕 ( 5〔0〕)	20〔0〕 ( 20〔0〕)	85 ( 45)	60 ( 45)	0 ( 0)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	738.15㎡		226		82,500				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体		
	523.89㎡		バレーボールコート1面 フットサルコート1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・ 共同研究費等は 大学全体
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
	共 同 研 究 費 等	30,000千円	30,000千円	設備購入費	0千円	-千円	-千円	・ 図書購入費は	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	電子ジャーナル運用コスト 含む	
		970千円	770千円	770千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。  
**なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。**
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	人間総合科学大学							備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍		
人間科学部								
心身健康科学科 (通信教育課程)	4	500	-	3,500	学士 (人間科学)	0.55	平成12年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地
健康栄養学科	4	80	-	320	学士 (健康栄養 学)	1.02	平成17年度	同上
《AC対象学部等》								
ヘルスフードサイエンス学科	4	80	-	320	学士 (食品健康科 学)	0.08	平成29年度	同上
保健医療学部	4							
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.12	平成23年度	埼玉県さいたま市 岩槻区太田字 新正寺曲輪354-3
リハビリテーション学科	4	70	-	280		0.99	平成23年度	同上
理学療法学専攻	4	40	-	160	学士 (理学療法 学)	1.04	平成23年度	同上
義肢装具学専攻	4	30	-	120	学士 (義肢装具 学)	0.91	平成23年度	同上
大学院								
人間総合科学研究科								
心身健康科学専攻								
修士課程 (通信教育課程)	2	30	-	60	修士 (心身健康科 学)	1.25	平成16年度	埼玉県さいたま市 岩槻区馬込1288番地
博士後期課程 (通信教育課程)	3	9	-	27	博士 (心身健康科 学)	1.04	平成19年度	同上
健康栄養科学専攻								
修士課程	2	5	-	10	修士 (健康栄養科 学)	0.30	平成21年度	同上
《AC対象学部等》								
臨床心理学専攻								
修士課程 (通信教育課程)	3	15	-	45	修士 (臨床心理 学)	0.87	平成28年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間総合科学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）通信教育課程>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名
専	教授	島田 涼子	平成28年4月	臨床心理学研究方法特論 心理療法特論 人間関係学特論						
				臨床心理援助技法論Ⅰ (個人心理療法)	専	教授	島田 涼子	平成28年4月	臨床心理援助技法論Ⅰ (個人心理療法)	教育・研究課程の充実を図る為人材の補充 (29)
				臨床心理援助技法論Ⅱ (集団心理療法) 臨床心理学特別研究	兼任	教授	重宗 祥子	平成28年4月		
専	教授	坪井 康次	平成28年4月	精神医学特論 臨床心理学特別研究						
専	教授	中野 博子	平成28年4月	臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理学特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅰ 臨床心理学研究方法特論 カウンセリング特論 発達心理学特論 臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特別研究						
専	教授	矢吹 弘子	平成28年4月	心身医学特論 臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ	専	教授	坪井 康次	平成28年4月	心身医学特論	担当者の変更 (28)
専	教授	大澤 一郎	平成28年4月	心理統計法特論	兼任	教授	久住 武	平成28年4月	心理統計法特論	平成27年3月大澤一郎教授個人の都合により辞任の為担当者の変更 (28) 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充 (28) 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充 (29)
					兼任	教授	小岩信義	平成28年4月		
					兼任	教授	鍵谷方子	平成28年4月		
					兼任	准教授	藤原宏子	平成28年4月		
					兼任	講師	矢島 孔明	平成29年4月		
					兼任	助教	朴峰 周子	平成29年4月		
					兼任	助教	鈴木 淳子	平成29年4月		
専	准教授	萩原 兼人	平成28年4月	臨床心理学研究方法特論 教育心理学特論 臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特別研究				平成27年3月大澤一郎教授個人の都合により辞任の為担当者の変更 (28)		
専	講師	村上 香奈	平成28年4月	臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理学研究方法特論 学校臨床心理学特論 臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特別研究	専	准教授	村上 香奈	平成28年4月	臨床心理面接特論Ⅰ 臨床心理面接特論Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 臨床心理学研究方法特論 学校臨床心理学特論 臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学特別研究	村上香奈講師の准教授昇格 (29)
兼任	教授	久住 武	平成28年4月	心身健康科学特講	兼任	教授	久住 武	平成28年4月	心身健康科学特講	教育・研究課程の充実を図る為人材の補充 (28) 教育・研究課程の充実を図る為人材の補充 (29)
					兼任	教授	鍵谷方子	平成28年4月		
					兼任	教授	小岩 信義	平成28年4月		
					専	准教授	萩原 兼人	平成28年4月		
					兼任	准教授	藤原宏子	平成28年4月		
					兼任	講師	矢島 孔明	平成29年4月		
					兼任	助教	朴峰 周子	平成29年4月		
兼任	教授	鈴木 はる江	平成28年4月	ストレス学特講						

兼任 教授	小岩 信義	平成28年4月	認知科学特講										
兼任 講師	室城 隆之	平成28年4月	臨床心理職能進行政・倫理特論 犯罪心理学特論										
兼任 講師	亀谷 秀樹	平成28年4月	老年心理学特論										
兼任 講師	苅部 ひとみ	平成28年4月	産業カウンセリング特論										
兼任 講師	満山 かおる	平成28年4月	臨床心理援助技法論Ⅲ (臨床心理査定)										
				兼任 教授	重宗 祥子	平成28年4月	臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ 臨床心理学研究方法特論					平成28年4月から教育・研究課程の充実を図る人材の補充(28)	
				専 助教	佐藤 曉美	平成29年4月	臨床心理基礎実習Ⅰ 臨床心理基礎実習Ⅱ 臨床心理実習Ⅰ 臨床心理実習Ⅱ					教育・研究課程の充実を図る人材の補充(29)	

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会に教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
5	0	1	0	6	4	2	0	1	7	4	2	0	1	7
(5)	(0)	(1)	(0)	(6)						[△1]	[2]	[△1]	[1]	[1]
研究指導教員数					研究指導教員数					研究指導教員数				
5	0	1			5	1	1			5	1	1		
(5)	(0)	(1)								[0]	[1]	[1]		

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例:1名減の場合:△1)

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢	報告書提出時(上記(A))	完成年度時(上記(B))の教員数
65歳	2名	2名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	大澤 一郎	選択	心理統計法特論	②	自己都合により就任辞退（27）				
			選択	臨床心理学研究法特論	①					
			選択	教育心理学特論	①					
			必修	臨床心理基礎実習Ⅰ	①					
			必修	臨床心理基礎実習Ⅱ	①					
			必修	臨床心理実習Ⅰ	①					
			必修	臨床心理実習Ⅱ	①					
合計（A）			後任補充状況の集計（B）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目	計	1	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（C）			後任補充状況の集計（D）				
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
該当無し	人	必修		科目	必修		科目
		選択		科目	選択		科目
		自由		科目	自由		科目
		計		科目	計		科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（A）+（C）			後任補充状況の集計（B）+（D）				
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目
		選択	3	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	7	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	・人間科学部人間科学科（通信教育課程）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること	留意事項 平成28年度に関しては後期入学生もあり、定員充足率は上昇する予定。さらに、右記実施計画に沿って入学増を図る。	①通信教育課程としては珍しい指定校推薦制度を導入。効果を検証しながら、充実を図っていく（平成26年度より）。 ②生涯学習、社会人に配慮し、スクーリングや試験をすべてインターネットで受けることが可能に。さらにICT教育環境を整備し、平成27年度、インターネット授業をスマートフォンやタブレットでも受講でき、アクティブラーニングを採用し、通信教育課程の特色を打ち出す。 ③大学院へ誘導可能な心身健康科学系、臨床心理系の科目を充実し、社会人の学生募集へのテコ入れとする。 ④文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」の対象となるプログラムを2コース設置し生涯学ぶ多様化のニーズに対応。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等（人間科学部人間科学科（通信教育課程））の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること  ・同一設置者が設置する新設学部等（人間科学部ヘルスフードサイエンス学科）の完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること	留意事項 ・人間科学部心身健康科学科（平成29年度より人間科学科より名称変更）の入学定員を平成29年度入学生より1,000名から500名に変更した。（29）  留意事項	・教員組織編制の将来構想を着実に実行する。（29）

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の



寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間総合科学研究科 臨床心理学専攻（修士課程）通信教育課程>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①施設・設備</p> <p>大学院附属臨床心理研修センター 心理相談室（143㎡）の設置</p>	<p>学内実習施設として大学院附属臨床心理研修センターを設置する（平成28年4月設置、5月より運用開始）(29)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、「FD・SD推進委員会」を設置し、FD活動を計画・実施している。          （平成19年度～平成22年度「FD推進室」、平成23年度～平成27年度「FD推進委員会」、平成28年度～「FD・SD推進委員会」として規程、運営方法の見直しも行いながら、機動的な活動展開を実施している。）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>本学のFD・SD推進委員会は、平成28年度構成員15名（教員11名、職員4名）とし設置。          このような構成員及び出席者により、平成28年度は、年4回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD・SD推進委員会（FD・SD推進委員会規程第7条）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) FD及びSD活動方針に関する事項</li> <li>(2) 授業アンケート、卒業生アンケート等FDの実施に関する事項</li> <li>(3) FD機関紙に関する事項</li> <li>(4) FD・SD研修プログラムの開発・実施に関する事項</li> <li>(5) その他FD及びSDに関する重要な事項</li> </ol>
<p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD研修会</li> <li>・ 新任教員のための研修会</li> <li>・ 教員相互の授業参観及び意見交換会</li> <li>・ 学生による授業評価アンケート</li> <li>・ 機関誌の発行 等</li> </ul> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ FD研修会：テーマを決め、全教職員を対象に定期的に開催</li> <li>・ 新任教員のための研修会：着任時に新任教員対象に研修会を実施</li> <li>・ 教員相互の授業参観及び意見交換会：各学科で授業参観の対象教員及び科目を決定し、年間を通じて全教員を対象に実施</li> <li>・ 学生による授業評価アンケート：全ての授業について、各授業終了時に実施</li> <li>・ 機関誌の発行：FD研修会及び教員相互の授業参観等における内容を機関誌（News Letter）にて発行</li> </ul>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会 年6回
- ・新任教員のための研修会 1回
- ・教員相互の授業参観及び意見交換会 10教員10科目
- ・学生による授業評価アンケート 年2回
- ・機関誌の発行 年2回

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・FD研修会及び教員相互の授業参観を通じて、自分自身の研究領域及び研究に対する視野を広げ相関性を持つと共に、教育の資質向上に努めている。
- ・学生による授業評価アンケートの集計結果に対して、各教員に授業改善提案書を提出させることで、授業改善に努めている。
- ・本学での取組を機関誌として発行することで、振り返り及び新着任教員への周知徹底に役立っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施 有  
実施時期 各授業終了時に実施（集計春期・秋期の年2回）

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・Webシステム（Uhas@Myキャンパス）上で、教員や学生へ集計結果を公開している。
- ・ホームページ上で概要を公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床心理学専攻 修士課程では、現代人の「こころ」と「からだ」の健康、特に「こころ」の健康の側面について科学的、総合的に追求し、臨床心理学に関する専門知識および技術をもってその保持、増進、回復を図りとともに、心理的問題の予防・改善のための支援・研究を行える人材の育成を目的とする。さらに幅広い教養、確かな倫理観、関連職種との連携・協働ができる能力を備えた心理臨床の専門家の育成を目的としている。なお、2017年3月、日本臨床心理士資格認定協会の臨床心理士第1種指定校に認定された。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・『自己点検評価書』（平成27年度）平成28年4月1日公表開始
- ・『自己点検評価書』（平成24年度）、『自己評価報告書』（平成20年度）、『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書（2000－2003年度）』は過年度に公表済み

b 公表方法

- ・『自己点検評価書』（平成27年度）、『自己点検評価書』（平成24年度）、『自己評価報告書』（平成20年度）は大学ホームページにて公表
- ・『人間総合科学大学 自己点検・評価報告書（2000－2003年度）』は大学事務局

③ 認証評価を受ける計画

平成27年度に日本高等評価機構による大学機関別認証評価を受審し、「適合」と認定された。次回は6年以内に受審を予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) ( 2016年 5月 15日 )